



陸軍少將從四位勲三等山根信成

特旨ヲ以テ位一級被進

從四位勲三等山根信成

敍正四位

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治廿八年十月一日

内

内閣總理大臣候爵伊藤博文

閣

陸軍三六八号十月一日

明治廿八年九月三十日

内閣書記官

内閣總理大臣 松久
内閣書記官長

陸軍少將従四位勲三等山根信成、明治四年八月十四日陸軍少尉拝命以來高等官在職勤勞不少候處目下病氣危篤、趣ニ付叙位進階内則第五條ニ依リ陸軍大臣奏請、通リ特旨ヲ以テ位一級進ノラレ然ルヘシ

内閣

陸軍少將從四位勲三等山根信成
 石多年軍務ニ從事シ勤勞成績不少
 者ニ有之候処目下病氣危篤殆シト快
 復之目途無之ニ付特旨ヲ以テ位一階ヲ
 進メラレ正四位ニ進叙セラレ度
 謹テ奏ス

明治八年九月三十日

陸軍大臣侯爵大山 出殿



陸軍省

位第九之號

別紙陸軍少將山根信成特旨進位之件

ヲ進連ス

明治

八年九月三十日

陸軍大臣侯爵大山 巖



内閣總理大臣侯爵伊藤博文 殿

陸軍省